

取扱説明書 【ゴグル形】

- この度は当社製防じんメガネをお買い上げ頂き、お礼申し上げます。
防じんメガネを使用する前にこの説明書を最後まで読んで頂き、充分理解の上使用してください。【この説明書は読んだ後も大切に保管してください】
- 疑問や不明な点がございましたら、裏面の当社消費者相談室までご連絡ください。
- この説明書を紛失した場合も同室までご請求ください。
- この防じんメガネは浮遊粉じん、薬液飛沫、飛来物から眼を保護する為に使用するものですが、絶対的に安全を保障するものではありません。
使用の際は最大限の注意を払い、常に安全な作業に努めてください。
- この防じんメガネは通常の眼鏡を掛けたまま使用できる設計になっていますが、眼鏡の形状等によっては眼鏡と防じんメガネのレンズ・フレームが接触し、眼鏡に損傷が発生することも考えられます。
使用開始前にご確認ください。
- No.1200 のゴグルはフレームが小型設計になっていますので、通常の眼鏡との併用はできません。



注意

使用方法を間違えると眼に重大な障害を及ぼす恐れがあります。

- ①レンズ及びヘッドバンドがフレームから外れていないか又は外れかけていないか。必ず使用前に点検を実施してください。
- ②熱発生現場・有害光線の発生する現場では絶対に使用しないでください。
- ③レンズやフレームにキズ、ヒビ割れ、欠け、変形等がある場合は絶対に使用しないでください。
- ④顔面にフィットするように、ヘッドバンドの長さを調節してください。
- ⑤ヘッドバンドにキズ、ほつれ、著しい変色等がある場合又は弾性が失われている場合は、絶対に使用しないでください。
- ⑥大きな衝撃のある飛来物があると予測できる作業では、防災面と併用してください。
- ⑦化学物質取扱い作業では顔全体を保護する防災面と併用してください。
- ⑧改造、修理等は大変危険です。絶対にしないでください。
- ⑨レンズやフレーム等にシンナー等の溶剤が付着した場合は、強度が低下すると考えられます。飛来物がある作業には絶対に使用しないでください。
- ⑩一度でも強い衝撃が加わった防じんメガネは新しい物に取換えてください。
- ⑪フレームに極小穴がある品番があります。
上記極小穴より粉じんが流入する場合は極小穴のない、No.1210・No.1220・No.1280・No.1292・No.1390等のゴグル形の防じんメガネをご使用ください。
- ⑫アレルギー等により、皮膚に異常を感じた場合は直ちに使用を中止してください。

手入れ

- ①レンズは汚れた布や手袋等で拭かないでください。(キズが付きます。)
- ②レンズは鉄粉や粉じんを含んだ布で拭かないでください。
(キズが付きます。)
- ③汚れは水道水で洗い流し、自然乾燥後きれいな柔らかい布で拭いてください。
- ④熱湯、シンナー等の溶剤、洗剤で洗わないでください。
(変形、白化等が発生します。)

保管

- ①車内及び車のトランク等、高温(50℃以上)になる場所で保管しないでください。
- ②直射日光が当たる場所で保管しないでください。(レンズ等が劣化します。)
- ③保管ケース・保管庫等で保管してください。

消毒

- ①消毒をされる場合は日本薬局方「消毒用エタノール(76.9~81.4vol%)」をお勧めします。
- ②きれいな柔らかい布に上記を浸し、防じんメガネを拭いてください。
- ③その後水道水で洗い流し、きれいな柔らかい布で水分を拭き取ってください。
- ④手や防じんメガネとの接触部に異常を感じた場合、直ちに使用を中止するとともに消毒も中止してください。
- ⑤詳細については日本薬局方「消毒用エタノール(76.9~81.4vol%)」の取扱説明書を参照してください。

明日の安全をひらく

TOYO SAFETY

URL:<https://www.toyo-safety.co.jp>

日本産業規格認証取得工場 日本保護眼鏡工業会会員

東洋物産五業株式会社

〒673-0443 兵庫県三木市別所町巴21-1

☎ 消費者相談室：0794-83-0155

BDD-